

【会場のご案内】

場 所：東京大学 生産技術研究所 駒場リサーチキャンパス内
A棟2F 駒場コンベンションホール
(東京都目黒区駒場4-6-1)
地下鉄千代田線・小田急線「代々木上原」駅 徒歩12分
京王井の頭線「駒場東大前」駅(西口) 徒歩10分



【お申込み方法・締め切り日：平成19年11月16日(金) 必着】

締め切り日までに、お名前、所属・役職名、住所、連絡先電話番号、メールアドレス等下記のお申込み窓口までご連絡ください。

【お申込み・お問合わせ先】

〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル7F
(財)ダム技術センター内 ダム工学会 語りべの会事務局
TEL：03-3433-7811 FAX：03-3432-6204
担当：角藤祐紀 E-MAIL：sumitou@jdec.or.jp

ダム工学会

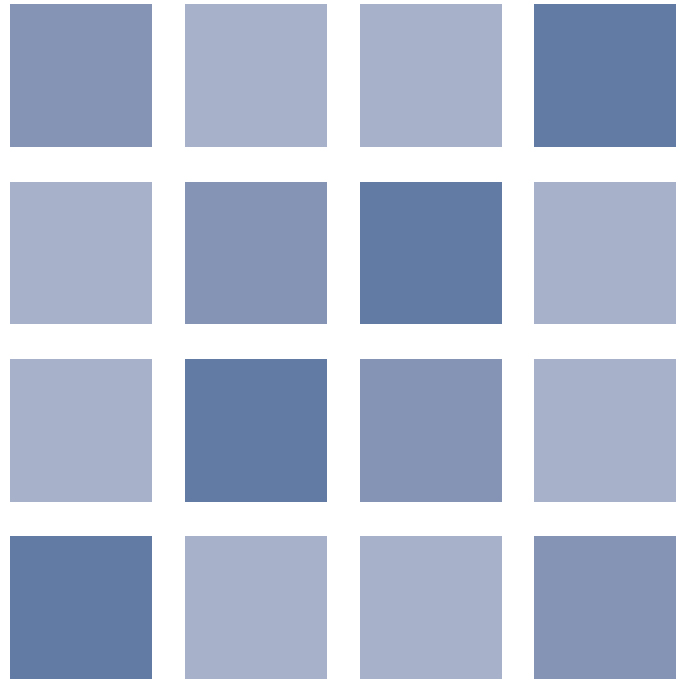
JAPAN SOCIETY DAM ENGINEERS

第2回「語りべの会」

2007.12.4 (Tue)

13:30～20:30

於：東京大学 生産技術研究所
駒場コンベンションホール



<http://www.jsde.jp/>

■ダム工学会 第2回「語りべの会」開催要項

趣 旨：ダム工学会では「技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元」を活動の目標として掲げています。「語りべの会」は、その一環として若手ダム技術者の育成と技術者間の世代を超えた連携強化を目的として様々な講師の方々をお招きしてお話を伺う機会を設けているものです。第2回「語りべの会」では、お二人の語りべによる講演、語りべと参加者による意見交換会を行います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成19年12月4日(火) 13:30～20:30 (受付開始13:00)

場 所：東京大学 生産技術研究所 駒場リサーチキャンパス
A棟2F「駒場コンベンションホール」
東京都目黒区駒場4-6-1

対 象：ダムに関わる技術者、学生など
(会員以外の方もご参加いただけます。)

参加費：一般の方は参加費(会員1,000円、非会員3,000円)が必要です。学生の方は無料です。

※参加費は当日受付にて徴収いたします。

●ダム工学会「語りべの会」実行委員

石 田 哲 也	東京大学
林 雄一郎	国土交通省河川局治水課
染 谷 健 司	(独)水資源機構
池 田 千 博	(財)国土技術研究センター
中 野 朱 美	(財)日本ダム協会
高 橋 英 和	(財)ダム技術センター
角 藤 祐 紀	(財)ダム技術センター
神 戸 隆 幸	鹿島建設(株)
島 村 亜紀子	前田建設工業(株)
長 部 孝 彦	八千代エンジニアリング(株)
森 岡 昌 昭	日本工営(株)
吉 村 奈緒子	いであ(株)
横 山 冴 子	(株)アイ・エヌ・エー
千々和 伸 浩	東京大学
川 中 勲	東京大学

■プログラム

13:30～13:40 開会挨拶・ダム工学会紹介

ダム工学会会長 山内 彪

13:40～15:10 講 演

(仮題)『中国におけるダム整備の現状と新しいダム技術
適用の試み』

語りべ 安雪暉

(中華人民共和国・清華大学 教授)

15:10～15:20 休 憩

15:20～16:50 講 演

(仮題)『迷探偵 地質野調兵衛』

語りべ 桑原 啓三

(財団法人 国土技術研究センター 技術顧問)

16:50～17:00 休 憩

17:00～18:00 意見交換会

18:30～20:30 参加者交流会

■語りべのプロフィール

安雪暉 (あんしえ ふうい)

■1968年生まれ、現在39歳。1990年中華人民共和国・清華大学工学部水利水電工学科卒。1996年東京大学大学院土木工学科にて工学博士号を取得。1996年～99年東電設計株式会社技術開発部勤務。1999年～2002年東京大学助教授。2002年～清華大学土木工学科水利水電(ダム)学科教授となる。



■講演要旨

現在、経済成長の著しい中国におけるダム建設事情について、俯瞰的な視点から概略をご説明するとともに、日中の技術協力により生まれた「自己充填コンクリートダム」に関する最新技術とその応用例をご紹介します。

桑原 啓三 (くわはら けいぞう)

■1940年佐賀県生まれ。広島大学理学部地学科卒業。建設省土木研究所地質化学部長、地質官、財団法人 国土開発技術研究センター技術参与を経て、アイドールエンジニアリング株式会社専務取締役役に就任。現在、東京農工大学農学部・東京都立大学工学部非常勤講師、財団法人 国土技術研究センター非常勤技術顧問。専門分野は、応用地質学(斜面、ダム地質等)



■主な著作：「ダムの地質調査」(共著・土木学会)「空の旅の自然学一定期便からみた風景」(共著・古今書院)「山地の地形工学」(共著・古今書院)「のり面工の施工ノウハウ」(共著・理工図書)ほか

■講演要旨

地質調査は「探偵」の仕事と同じ。少ない情報から如何に正確な地質を求め、設計施工に伝えるかが課題です。そのためには、常に今までの地質調査を反省しつつ、さらに調査技術の向上を図らなければなりません。そして、その答えは現場にしかありません。